

リモコン対応メディアプレイヤー

rMPPlayer

Ver. 1.3.0

説明書



内容

rMPlayer について	1
rMPlayer の画面	2
メニューとリモコンパッドの表示方法	3
●メニューの表示	3
●リモコンパッドの表示	3
操作一覧	4
●リモコン操作	4
●リモコンパッド操作	5
●レジューム画面のメニュー操作	6
●フォルダー画面のメニュー操作	6
●再生画面のメニュー操作	7
●設定ダイアログ	8
補足	10
●rMPlayer をリモコンで起動する方法	10
●レジューム登録に関する注意	11
●MPlayer のバイナリについて	11

！！最初の起動について！！

インストールして最初に起動したときや、OS が更新された直後の起動時は、「MPlayer の準備中」の表示が長い時間(数分程度)表示されたままになることがあります。

何回か起動すれば、すぐに消えるようになります。

rMPlayer について

rMPlayer は、ルートアール社の PC 用リモコン(RW-PCM37BK)に対応した、メディアプレイヤーソフトウェアです。このプログラムは、Windows 7, 8, 8.1, 10 上で動作します。



ルートアール社 RW-PCM37BK

PC のフォルダーに保存してあるビデオファイルやオーディオファイルを、リモコンで選択して再生することができます。メイン画面をファイル選択用のリスト表示にしているので、テレビに PC を繋いでいる場合のように画面から離れていても楽に操作できます。もちろん、早送りや巻き戻しなどの操作もリモコンで可能です。

最大 20 まで登録できるレジューム機能(再生途中で停止し、ソフトウェアを終了しても、次に起動したときに続きから再生できる機能)も備えています。

マウスでの操作も可能ですが、通常の操作はリモコンの方が簡単です。(但し、設定ダイアログの操作はマウスの方が簡単です。)

また、タッチ操作にも対応しています。タッチ操作用のリモコンパネルは、リモコンのボタンに合わせてあります。

rMPlayer は、フリーのメディアプレイヤーソフトウェアである MPlayer のフロントエンド(GUI)として動作するソフトウェアです。rMPlayer は MPlayer をバックグラウンドで動かし、その機能を利用してメディアプレイヤーとしての機能を実現しています。ユーザーの便宜のため、インストールプログラムには MPlayer も含んでおり、インストールしてすぐに使用することができます。

MPlayer のホームページ

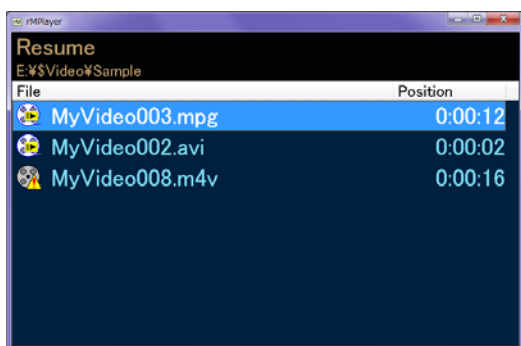
<http://www.mplayerhq.hu/design7/info.html>

rMPlayer の画面

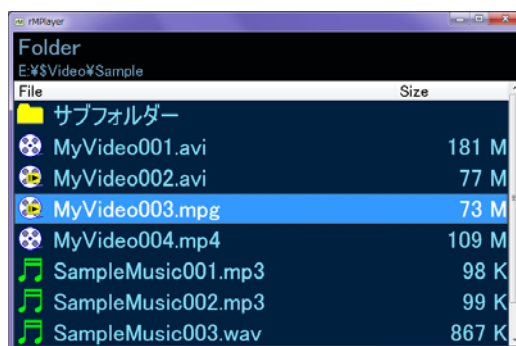
rMPlayer は、レジューム画面、フォルダー画面、再生画面の3つの画面を切り替えて使用します。

- レジューム画面 最大 20 のレジューム登録されたファイルを表示します。
- フォルダー画面 PC のフォルダーの内容を表示します。表示されるのは、ビデオファイル拡張子、オーディオファイル拡張子が登録されたファイル、およびサブフォルダーです。
- 再生画面 ビデオファイル、オーディオファイルを再生している時の画面です。

rMPlayer の起動時は、レジューム登録されたファイルが存在する場合はレジューム画面になります。存在しない場合はフォルダー画面になります。











レジューム画面の例



フォルダー画面の例

レジューム画面やフォルダー画面のリストの左端に表示されるアイコンには、以下のようなものがあります。

	ドライブを表します。 フォルダー画面の最上位で表示されます。
	サブフォルダーを表します。
	ビデオファイルを表します。 レジューム登録されていない状態です。
	レジューム登録されたビデオファイルを表します。
	レジューム登録されたビデオファイルですが、ファイル本体が見つからないことを表します。
	オーディオファイルを表します。 レジューム登録されていない状態です。
	レジューム登録されたオーディオファイルを表します。
	レジューム登録されたオーディオファイルですが、ファイル本体が見つからないことを表します。

メニューとリモコンパッドの表示方法

●メニューの表示

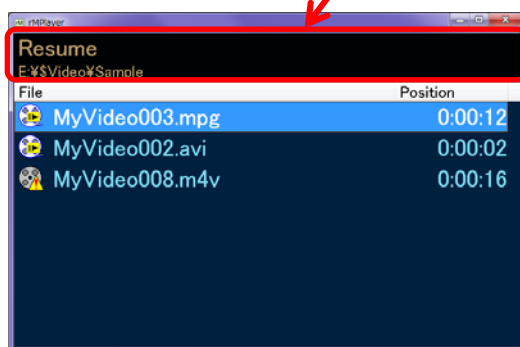
各画面で、マウスの右ボタンをクリックすることでメニューが表示されます。

●リモコンパッドの表示

タッチ操作用のリモコンパッドは、レジューム画面やフォルダー画面のリスト以外の場所をタッチすると表示されます。再生画面では、画面内をタッチすると表示されます。もう一度タッチするか、リモコンパッドの右上のクローズボタンをタッチすると閉じます。

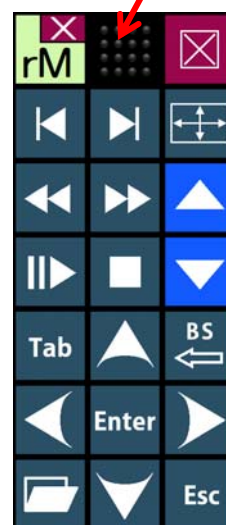
リモコンパッドの上中央のボタン(黒地に点々)をドラッグすると、リモコンパッドを移動できます。

ここをタッチして表示／非表示



ここをドラッグして移動

ここをタッチして表示／非表示



リモコンパッド

操作一覧

●リモコン操作

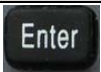



※リモコンのボタンのうち、音量調整ボタンなど OS レベルで対応するボタンについては説明を省略しています。

ボタン	レジューム画面	フォルダー画面	再生画面
	—		スキップ戻り 設定ダイアログで設定された秒数だけ戻る
	—		スキップ送り 設定ダイアログで設定された秒数だけ送る
	—	上位のフォルダーへ移動	巻き戻し 押すごとに x4 → x12 → x40 → x120
	—		早送り 押すごとに x1.5 → x2 → x4 → x12 → x40 → x120 一時停止から押すごとに x1/20 → x1/10 → x1/5 → x1/2 (*1)
	選択したファイルの再生	サブフォルダーを選択している場合はそのサブフォルダーへ移動、それ以外は選択したファイルの再生	一時停止／再生 早送りや巻き戻し、スロー再生時は標準スピードに戻す
	—		再生の停止 (レジューム登録)
	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え		
	レジューム登録の取り消し		ファイルの先頭に戻る
	リストのページアップ		音声の切り替え
	リストのページダウン		字幕の切り替え
	リストの前の項目		—
	リストの次の項目		—
	 と同じ		
	 と同じ		


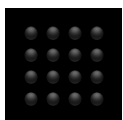

(次のページに続く)

(*1) スロー再生は、必ずしも指定したスピードにはなりません。エンコードの条件により最小スピードに制限があります。

(前のページからの続き)

ボタン	レジューム画面	フォルダー画面	再生画面
	選択したファイルの再生	サブフォルダーを選択している場合はそのサブフォルダーへ移動、それ以外は選択したファイルの再生	一時停止の時に、1フレーム進める
	選択を維持してフォルダー画面に切り替え	選択を維持してレジューム画面に切り替え	—
	選択を無視してフォルダー画面に切り替え	選択を無視してレジューム画面に切り替え	—
	—	最上位フォルダー(ドライブ選択)へ移動	再生の停止 (レジューム登録なし)

●リモコンパッド操作

ボタン	説明
	rMPlayer の終了
	ドラッグしてリモコンパッドを移動
	リモコンパッドを閉じる

※その他のボタンについては、同じデザインのリモコンボタンと同じです。

●レジューム画面のメニュー操作

メニュー項目	ショートカット	説明
再生	Enter	選択したファイルの再生
連続再生モード	—	再生終了時、同じフォルダーの次のファイルを再生するか否かを選択
Folder 画面へ(選択継承)	Tab	選択を維持してフォルダー画面に切り替え
Folder 画面へ(選択無視)	Ctrl + O	選択を無視してフォルダー画面に切り替え
Resume 登録削除	Backspace	レジューム登録の取り消し
Full Screen 切替	Ctrl + F	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え
設定 ...	—	設定ダイアログを表示
MPlayer パス設定 ...	—	MPlayer のパスを設定
rMPlayer について ...	—	rMPlayer のバージョン表示
終了	Alt + F4	rMPlayer の終了

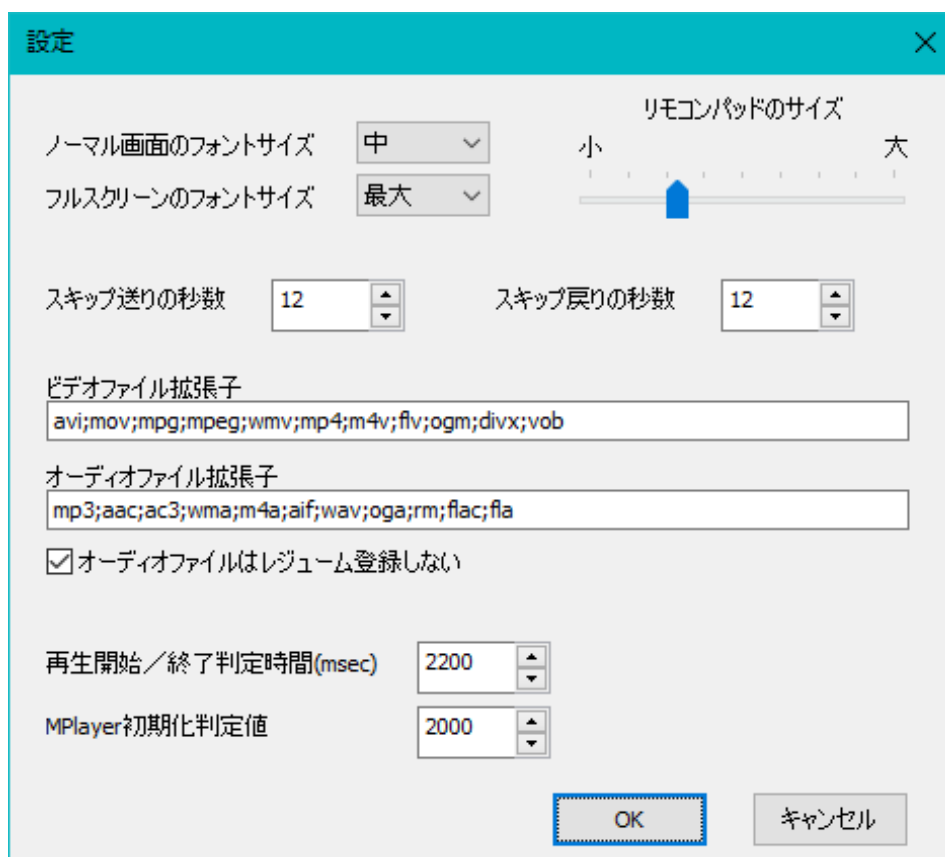
●フォルダー画面のメニュー操作

メニュー項目	ショートカット	説明
再生	Enter	選択したファイルの再生 (サブフォルダー以外を選択している場合)
連続再生モード	—	再生終了時、同じフォルダーの次のファイルを再生するか否かを選択
Resume 画面へ(選択継承)	Tab	選択を維持してフォルダー画面に切り替え
Resume 画面へ(選択無視)	Ctrl + O	選択を無視してフォルダー画面に切り替え
Folder の展開	Enter	サブフォルダーへ移動 (サブフォルダーを選択している場合)
上位 Folder へ	←	上位のフォルダーへ移動
最上位 Folder へ	Esc	最上位フォルダー(ドライブ選択)へ移動
Resume 登録削除	Backspace	レジューム登録の取り消し
Full Screen 切替	Ctrl + F	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え
設定 ...	—	設定ダイアログを表示
MPlayer パス設定 ...	—	MPlayer のパスを設定
rMPlayer について ...	—	rMPlayer のバージョン表示
終了	Alt + F4	rMPlayer の終了

●再生画面のメニュー操作

メニュー項目	ショートカット	説明
Full Screen 切替	Ctrl + F	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え
Resume 登録して停止	Ctrl + S	再生の停止 (レジューム登録)
Resume 登録せずに停止	Esc	再生の停止 (レジューム登録なし)
一時停止	—	再生の一時停止
標準スピード	—	早送りや巻き戻し、スロー再生時に標準スピードに戻す
スピード – x 1/20 x 1/10 x 1/5 x 1/2 x 1.5 x 2	—	指定スピードでの再生 (スロー再生は、必ずしも指定したスピードにはなりません。エンコードの条件により最小スピードに制限があります。)
早送り – FF x 4 FF x 12 FF x 40 FF x 120	—	指定スピードでの早送り
巻き戻し – REW x 4 REW x 12 REW x 40 REW x 120	—	指定スピードでの巻き戻し
1フレーム送る	Enter	一時停止の時に、1フレーム進める
スキップ送り	Ctrl + T	設定ダイアログで設定された秒数だけ送る
スキップ戻り	Ctrl + R	設定ダイアログで設定された秒数だけ戻る
先頭に戻る	Backspace	ファイルの先頭に戻る
音声切替	Page Up	音声の切り替え
字幕切替	Page Down	字幕の切り替え

● 設定ダイアログ



■ ノーマル画面のフォントサイズ／フルスクリーンのフォントサイズ

レジューム画面やフォルダー画面のフォントサイズを選択します。

ノーマル画面（通常ウィンドウ）と、フルスクリーンのフォントサイズを個別に選択できます。

■ リモコンパッドのサイズ

リモコンパッドのサイズを指定します。

リモコンパッドを表示した状態であれば、スライダーの移動に連動してサイズが変わります。

■ スキップ送りの秒数／スキップ戻りの秒数

スキップ送り、スキップ戻りの秒数を設定します。

■ ビデオファイル拡張子／オーディオファイル拡張子

リストに表示するビデオファイル拡張子、オーディオファイル拡張子を、セミコロンで区切って設定します。

実際に再生できるかどうかは、MPlayer に依存します。

■オーディオファイルはレジューム登録しない

オーディオファイルをレジューム登録の対象とするか否かを選択します。

■再生開始／終了判定時間

rMPlayer では、MPlayer での再生が開始または終了したかを確認するため、MPlayer にコマンドを送って応答があるかどうかをみます。応答がないと判断するまでの時間が、「再生開始／終了判定時間」です。

再生の開始に失敗したり、再生の途中で終了するなどの現象が発生する場合は、長めの値にすると良いかもしれません。但し連続再生モードの場合、設定した時間だけ間が空くことになります。

■MPlayer 初期化判定値

rMPlayer の起動時には MPlayer をバックグラウンドで起動しますが、MPlayer 自身の初期化処理に時間が掛かることがあります(特にインストール直後や OS が更新された直後)。

MPlayer が初期化処理を終わっても rMPlayer には何も通知されないので、やや特殊な方法で終了タイミングの判定を行っています。その判定パラメータが「MPlayer 初期化判定値」です。

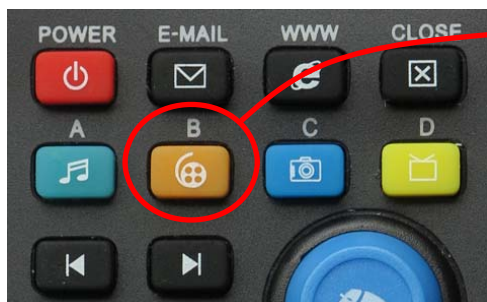
通常はデフォルト値(2000)を変更する必要はありませんが、rMPlayer 起動時の「MPlayer の準備中」の表示が数分以上表示されたままになる場合は、値を大きくしてください。

「MPlayer の準備中」の表示が消えた直後に再生を行うと必ず失敗するような場合は、値を小さくしてください。

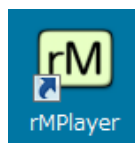
補足

●rMPlayer をリモコンで起動する方法

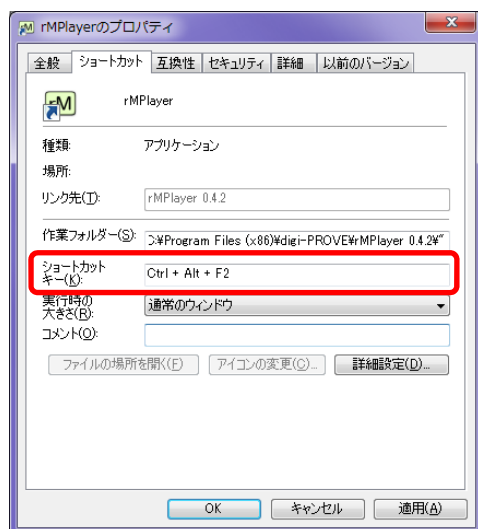
デスクトップの rMPlayer アイコンのプロパティ設定を行うことにより、リモコンのアプリケーションボタンで rMPlayer を起動できるようになります。



このボタンで rMPlayer を起動させる



デスクトップの rMPlayer アイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を実行します。



「ショートカット」タブを選択し、「ショートカットキー」の欄をクリックします。リモコンの B ボタン(上の図のオレンジ色のボタン)を押すと、「Ctrl+Alt+F2」が入力されます(キーボードで入力することも可能です)。

プロパティのダイアログを「OK」で閉じて登録完了です。

●レジューム登録に関する注意

再生中に Windows のシャットダウンやログオフなどを行った場合、レジューム登録されないことがあります (MPlayer から停止位置情報を受け取る前に、Windows が MPlayer を停止させることがあるため)。

確実にレジューム登録させるためには、再生を停止してからシャットダウンやログオフなどを行う必要があります

●MPlayer のバイナリについて

rMPlayer に添付している MPlayer は、generic 版と 64bit 版です。

generic 版: MPlayer-generic-r38203+gb51b9bbd42.7z

64bit 版: MPlayer-x86_64-r38203+gb51b9bbd42.7z

初期状態では、OS が 64bit の場合は 64bit 版 MPlayer、32bit の場合は generic 版 MPlayer を使用します。

他に、CPU ごとに最適化された版が存在し、以下のサイトからダウンロードできます。使用している CPU に最適な版をダウンロードし、置き換えると良いかもしれません。

<http://oss.netfarm.it/mplayer/>

初期状態では、rMPlayer をインストールしたフォルダーの下に「MPlayer32」サブフォルダー及び「MPlayer64」サブフォルダーにあります。

この内容を入れ替えるか、別のフォルダーに展開してメニューの「MPlayer パス設定 ...」で mplayer.exe のパスを設定してください。

奥付

2015 年 11 月 12 日発行 (Ver.1.00)

2016 年 6 月 18 日 (Ver.1.01)

2016 年 7 月 2 日 (Ver.1.02)

2017 年 1 月 6 日 (Ver.1.10)

2017 年 6 月 15 日 (Ver.1.20)

2021 年 6 月 13 日 (Ver.1.30)

本書は、著作権法上の保護を受けています。

本書はフリーソフトの一部であり、digi-PROVE が作成したアーカイブの形態での複製、配布は自由に行うことができます。また、プログラムをインストールしたPC内部、およびそのバックアップ目的での記憶メディアへの保存に限り複製を行うことができます。以上の形態以外の形態では、本書の一部または全部について、digi-PROVE から文書による許諾を得ずに、いかなる方法によっても無断で複写、複製することは禁じられています。

Copyright© 2015-2021 digi-PROVE

メールアドレス: digiprove@outlook.jp